

今日から大人の仲間入り

～平成16年登別市成人祭～

1月11日(日)、登別マリパークニクスで『平成16年登別市成人祭』が行われ、振り袖やスーツ、はかま姿の新成人784人が大人の仲間入りをしました。

式典は、フェリックス・ゲバラさん(フォルクローレ奏者)の『コンドルは飛んでいく』の演奏で幕を開け、和泉薫成人祭実行委員会代表のあいさつの後、上野市長が「豊かな教養と健全な精神、高い情操を合わせ持つ青年になってください」と新成人に激励のことばを送りました。

続いて、新成人代表の木藪拓也さん、古内美緒さんが「豊かな人間性をはぐくみ、未来の開拓に努めます」と『二十歳の誓い』を力強く述べました。

式典後、新成人は、久しぶりのふるさと登別で再会した友人たちと談笑したり記念写真を撮り合うなど、和やかに成人祭を楽しんでいました。



新成人を代表して『二十歳の誓い』を述べる木藪さん(中央)と古内さん(左)

ふおれすと鉱山で楽しい冬休み

～冬休みスペシャルウィーク～



歩くスキーを楽しむ参加者

1月9日(金)から12日(月)まで、登別市ネイチャーセンター『ふおれすと鉱山』で『冬休みスペシャルウィーク』が開かれました。

この催しは、子どもたちの冬休みに合わせ、市民にさまざまな学びや遊びを通して、鉱山町の冬を体験してもらおうと開催されたものです。

参加した市民は、魚拓や油絵、歩くスキー、ランプシェード作りなどに挑戦。歩くスキーでは、参加者が林道やふおれすと鉱山のグランドに降り積もったばかりの雪の上をスキーでゆっくりと進んでいました。

また、会場では、ふおれすと鉱山市民支援組織『モモンガくらぶ』が主催する『もちつき大会』も開かれ、参加者はつきたてのもちでつくった雑煮などで冷えた体を温めていました。

『アイヌ神謡集』の魅力を伝えるために

～知里真志保を語る会『アイヌ神謡集超入門』を出版～

講演会や展示会などを通じ、アイヌ文化の紹介や市民交流を行っている知里真志保を語る会が、2月1日(日)に『アイヌ神謡集超入門』を出版しました。

今回の出版は、一昨年に『アイヌ神謡集』の初版本を復刻した同会が知里幸恵生誕100年を記念し、多くの方々に『アイヌ神謡集』を通してアイヌ文化の魅力や歴史、アイヌ語についての理解を深めてもらおうと準備を進めてきたものです。

この『アイヌ神謡集超入門』には、アイヌ語を学びながらカムイユカラの魅力が理解できるよう、『登別アイヌ語教室』(北海道ウタリ協会登別支部主催)の中で『アイヌ神謡集』をテキストに学習してきた内容が、分かりやすく取りまとめられています。

この『アイヌ神謡集超入門』は、北海道ウタリ協会登別支部と市内の書店で1冊2,000円で販売されているほか、市立図書館で借りることができます。

『アイヌ神謡集超入門』に関する問い合わせ...北海道ウタリ協会登別支部(☎851062)

